

## 取扱説明書

※必ず適用範囲を守ること

## 多機能ケーブルストリッパー ABI-1

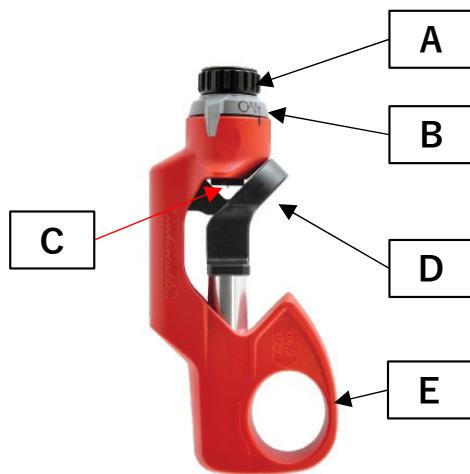
外径Φ4.5～29mm, 被覆厚0.1mm～3mm

## 一般事項

- 施工前に本書を一読すること
- 刃の部分で怪我をしないように十分に注意すること
- 地域や国の資格や施工責任者の承認を得た作業者が行うこと

インターフケーブル社認定日本販売元  
株式会社 北海道ダイエイテック  
TEL 011-667-1020  
info@h-det.com

## 各部の説明



|   |             |
|---|-------------|
| A | 刃深さ調整ダイアル   |
| B | 切斷モード切替ダイアル |
| C | 切斷刃 (交換可能)  |
| D | ケーブル固定用サドル  |
| E | 本体回転用ハンドル   |

## ※適用ケーブルについて

本製品は国内の600V CV単心250mm<sup>2</sup>までのシース及び絶縁体の切断、6KV100mm<sup>2</sup>までのシース切断、及び6KV150mm<sup>2</sup>外導剥ぎ取り適合を確認しております。その他被覆に関しては、事前に試し切断をして切断可否を念のために確認すること  
※絶縁体と外導に作業する場合には、円周からせん切断のみとし、縦切断は行わないこと

## 1) 剥ぎ取り作業の流れ (裏面上を参照のこと)

## 1. 切断モード確認 (ロック解除)

切断方向選択レバーを円周にセットしてから作業を開始する  
Bの切断モード切替ダイアルが直線にセットされている場合はロック状態となり  
Dのサドルは動作しません

## 2. 切断刃の調整 (裏面 1)

ストリッパーをケーブルの断面に当て、Aの刃深さ調整ダイアルを時計回りに回転させて切断刃の突出を調整する (反時計回りで刃は引っ込む)

## 3. 位置決め・円周切断 (裏面 2)

ケーブルに切断開始位置にマーキングし、切断方向選択レバーを「円周」にセットする  
Dのサドルを引き上げマーキング位置に刃を合わせ、サドルから手を離し本体を回転させ円周切断する (円周切断刃時計回り、反時計回りどちらでも良い)

## 4. らせん方向切断 (裏面 3)

Bの切断モード切替ダイヤルを「らせん切断」にセットし、本体を時計回りに回転させる本体が終端部及び任意の場所まで回転させる、また中間はぎとりの場合には任意の位置で止め、切替ダイヤルを円周切断にセットし、3と同様に切断し、シース及び絶縁体を取る

## 5. 縦方向(直線)切断 (裏面 4)

Bの切断方向選択レバーを「直線切断」にセットし、本体を縦軸方向に引っ張り、任意の位置まで引き抜く (中間剥ぎ取りの場合には、任意の位置で止める)

## ※注意事項

- ・絶縁体の切断で縦方向の切断はしないこと、また刃が導体に当たらないようにすること
- ・絶縁体はシース切断よりも少し刃を長めに出すようにし、試し切断を行うこと
- ・600V以上のケーブル絶縁体は厚みが適用外なので施工しないこと
- ・Aのダイヤルは限界を超えて回すと空転し破損の原因となります、絶対に行わないこと
- ・切断作業中に刃の調整やモード切替を行わない、必ず止めてから行うこと
- ・らせん切断の回転を間違えないこと (外導は間違った場合必ず再施工すること)

## ※参考動画へのリンク及びスマホ用QRコード (youtubeへ移動)

<https://youtu.be/rFFsWHMbcv8>



## 作業の流れのイメージ

